

第51回全日本美容技術選手権大会

オープン競技 競技要綱

と き 令和5年10月24日（火）

ところ 広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）

オープン競技概要

1. オープン競技（カットバトル）について

この競技は、全日本美容技術選手権大会内にて実施され、出場者は、美容所に勤務し、以下の出場資格を満たしている全ての美容師を対象とし、美容組合の組合員及び従業員でなくても出場することができます。

競技で使用するモデルウィッグは、全日本美容業生活衛生同業組合連合会（連合会）が指定するモデルウィッグを、美容組合を通じて各自用意し持参してください。

開催担当（広島県）の出場選手の登録申込期限（令和5年7月25日）時点で、出場選手の申込者数が20名未満の場合、競技を実施しないことがあります。競技が実施されない際は、連合会より各美容組合に通知し、各美容組合から出場申込者にご連絡いたします。登録料につきましては、返金いたします。

2. 出場資格について

大会当日（令和5年10月24日）に美容師免許取得後5年以内の美容師であること。

*免許取得後5年以内とは、美容師免許登録日（免許証記載日）より起算して大会当日（令和5年10月24日）に5年以内であるということです。

3. 出場申込みについて

出場申込書と必要書類（美容師免許証のコピー等）を美容組合に提出し、出場選手登録料を指定された方法でお支払いください。登録料入金後の選手都合による申込取消につきましては、登録料の返金をいたしません。

<提出・支払い先の美容組合>

- ・美容組合の組合員又はその従業員の方は、ご所属の美容組合にてお手続きください。
- ・美容組合の組合員又はその従業員でない方は、勤務先の美容所がある都道府県の美容組合にてお手続きください。

4. 大会当日について

- 出場申込み及び出場選手登録料の入金が確認された後、大会当日の選手受付時間（12時30分～13時を予定）等が記載された「出場選手へのご案内」を送付いたしますので、各自、受付時間厳守にて会場までお越しください。大会会場までの交通機関の手配、必要な場合の宿泊の手配等は各自で行ってください。

*事前（大会前日や当日）に選手説明会は開催いたしませんので、送付される「出場選手へのご案内」を必ずご確認ください。

- 表彰式では、入賞者（優秀賞）の氏名のみ発表されます。舞台での表彰等はございませんので、入賞者へは、後日、賞状と副賞が勤務先に届きます。入賞者の人数については、出場選手の数に応じて連合会理事長が決定します。

5. 審査委員及び監視委員

大会運営規則に基づき委嘱された審査委員及び監視委員が、「専門委員職務要項」に基づき審査業務及び監視業務をそれぞれ行います。

6. 出場する際の承諾事項について

- 出場選手申込み後（大会終了後も含む）、提出された出場申込書に虚偽の記載が判明した場合、出場申込みは取消され、該当選手は失格となり、授与された賞は返還することとなります。この場合、登録料は返金いたしません。
- 出場希望者は、以下の内容を承諾することが必須となりますのでご了承ください。

全日本美容業生活衛生同業組合連合会が主催するオープン競技に出場するにあたり、出場選手は作品及び作業風景が無償で撮影され、様々な媒体で使用される可能性があることを承諾し、許可します。
出場選手は、大会の主催者が作品の肖像を使用することを許可し、作品及び作業風景が使用される際、自身の氏名が表示されない場合もあることを承諾します。

◆ カットバトル (オープン競技)

(1) サロンスタイル

この課題は、サロンワークで提供できるグラデーションボブのダウンスタイルで、カットの基本的なテクニックとデザインの良さを競うものである。

※ 事前カット及びカラーは禁止する。ただし、ブリーチのみ可。

(2) 本競技は連合会が指定するモデルウィッグを使用して行う。

(3) 選手の参加資格は、大会当日に美容師免許取得後5年以内（美容師免許登録日より起算）の者とする。

(4) 競技時間 30分

(5) 競技に関する制限及び禁止事項（違反した場合は、減点もしくは失格となる。）

- ① 選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は白いもの（色、柄は禁止）。
- ② 競技中、選手同士又は観客と会話等をしてはならない。
- ③ 競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ④ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない等の行為は、退場を命じることがある。
- ⑤ 事前カットは一切認めない。
- ⑥ カラーは禁止とし、ブリーチのみ施すことができる。
- ⑦ モデルウィッグの髪は、事前にスタイリング（形付けのためのブロー及び整髪料、カーラー、ピン類がついている）がされてはならない。
モデルウィッグの髪は控室で監視委員長が厳重に点検し、スタイリングがされているものは減点とし、監視委員長が完全に濡らす。
- ⑧ モデルウィッグの髪は、競技ステージで完全に濡らし、オールバックにシェープした状態から始めなければならない。
- ⑨ モデルウィッグへの印、ピン打ち等は禁止する。
- ⑩ 仕上がりのヘアは、モデルウィッグの台座より下がってはならない。
- ⑪ 競技時間内に使用する整髪料は自由とする。
- ⑫ 競技に必要なすべての用具の使用を認める。ただし、はさみ等の用具を収納する革製のケースの使用は禁止する。
- ⑬ モデルウィッグへのメイクは自由とする。ただし、ラインストーン、ラメ、タトゥー（絵）等は禁止する。

- ⑭ イヤリング、ピアス、ネックレス、ヘアアクセサリ類は禁止する。
- ⑮ モデルウィッグに洋服は取り付けてはならない。(首にスカーフを巻くことも禁止する。)
- ⑯ 競技終了後、作品にピンを残してはならない。
- ⑰ 競技終了後、選手はモデルウィッグに一切触れてはならない。
- ⑱ 競技終了後、モデルウィッグを指示された方向に向け、選手は、直ちに用具その他のものを持って退場しなければならない。
- ⑲ 万力(選手が持参し、目印等が付いていないもの)は、競技中機の指定された側に固定しておかなければならず、タオルを挟んで使用する場合は、開催担当美容組合から提供されるタオルを使用しなければならない。
- ⑳ 電源は1人1.3kWまでとし、コンセントは1口用である。(2口用コンセントは禁止する。)
- ㉑ 控室で電源の使用は禁止する。

[注] モデルウィッグ、ドライヤー等の消費電力(メーカー表記で確認)は、控室で、競技前に監視委員が厳重に点検を行う。